

日頃の準備が大切です

9月1日は「防災の日」

8月30日～9月5日は「防災週間」で、特に9月1日は「防災の日」です。

いつ起こるか分からない災害に対して、日頃の準備はとて大切です。「いつか」準備するのではなく、防災の日をきっかけに「今」準備を始めてみませんか。

☎危機管理課☎70・5641

備蓄の勧め

災害時には流通が回復するまでに時間がかかり、日用品や食料が手に入りにくくなります。次の例を参考に、各家庭に必要なものを備蓄しておきましょう。市防災ハザードマップ33ページも参考にしてください。

▶備蓄品の例

- ・飲料水(1人1日3リットル)
- ・食料
- ・マスク
- ・トイレトーパー
- ・乳幼児用品(おむつ、ミルクなど)
- ・ペット用品(ペットフード、ケージなど)
- ・要介護者用品(おむつ、常備薬など)
- ・その他家庭によって必要になるもの



分散避難の勧め

避難とは、「難」を「避ける」ということです。避難所に多くの方が密集すると、感染症の拡大につながる可能性があります。避難所以外にも「難」を「避ける」ことができる場所を検討し、地域の人たちが分散して避難することが大切です。

▶避難所以外への避難の例

- ・在宅避難
- ・親戚・知人宅への避難
- ・ホテルへの避難
- ・車両避難(車中泊)など



9月9日は「救急の日」

救急医療・業務に対する理解と認識を深め、救急医療関係者の意識を高めるため、9月9日は「救急の日」と定められました。この日を含む9月4日(日)～10日(土)の1週間を「救急医療週間」としています。

☎消防署☎76・0119



必要とする人のために  
救急車の利用は適正に

新型コロナウイルス感染症の急拡大や熱中症への対応のため、現在、救急車の出動が増えていますが、搬送人員の約半数を軽症者が占めています。比較的軽度な傷病者による救急車の利用が増えると、本当に救急医療が必要な緊急性が高い傷病者への処置や治療の遅れにつながりかねません。

救急車を必要とする人の命を確実に救うため、緊急性がない場合は、自家用車やタクシーなど一般の交通機関を利用してください。

重大な病気やけがの場合には、ためらわず119番通報してください。判断に迷ったときは「あやせ24時間健康相談」を利用してください。

※同相談は、市内在住者を対象に、医師や保健師に心や体の健康などについて気軽に相談できる24時間体制の電話相談窓口です。  
☎0120・1192・61(無料)



大切な人の命を救うために

呼吸や心臓が止まってしまった人の治療は1分1秒を争います。急な病気やけがなど、救急事故の現場に遭遇した場合は、すぐに119番通報をしてください。電話を通じて通信指令員が適切な応急手当ての方法や手順を指導します。

救急車が到着するまでの間に、現場に居合わせた人が応急手当てを行うことで、救命や症状の悪化防止などにつながります。人工呼吸や胸骨圧迫などの心肺蘇生法に加え、救急隊よりも早くAEDを使用することで、病気やけがをした人の命が助かる可能性が高くなります。AEDは、細かく震えている心臓に電気ショックを与えて震えを取り除き、心臓が正常に動くよう助けるための医療機器であり、一般の方でも使うことができます。

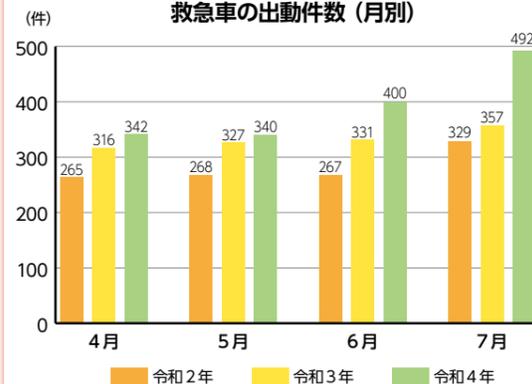
いざという時のために、救命講習会に参加して応急手当てやAEDの使用方法についての知識や技術を身に付けてみませんか。

上級救命講習会

心肺蘇生法・AEDの使用法・傷病者管理法・搬送法・応急手当てなどを習得。時10月2日(日)8時30分～17時30分 消防本部 市内在住・在勤・在学の中・高生以上で普通救命講習会を受講済みの方 定20人(申込順) 持昼食 申9月25日までに消防署☎76・0119



救急車の出動件数(月別)



広告

**あやせ名産品会**

高座豚手造りハム 大久保商店 矢部商店 鈴保養鶏園

お問い合わせは各店舗にお願いします

詳細は名産品会ホームページをご覧ください

あやせ名産品会事務局 (綾瀬市役所商業観光課内)

ふじみ式典 家族と親しい方での温もりのお見送りを

家族葬と樹木葬 綾瀬の葬儀社

**ゆかりえ**

火葬式 家族葬1day 168,800 税込 347,000 税込

(事前の登録で5,000円割引後の価格)

低価格でも満足で安心のお葬式

お問合せ・ご依頼は 0120-64-7764

家族葬専用式場 「ゆかりえ」 寺尾釜田1-11-5